

平成 17 年度財務諸表概要（貸付業務勘定）

平成 17 年 7 月 24 日
北方領土問題対策協会札幌事務所

1. 財務諸表の概要

(1) 貸借対照表

資産の部（6,940,796,871 円）

流動資産

- ・現金及び預金（611 百万円のうち 300 百万円は定期預金で借入金の担保に供している）
- ・有価証券（借入金の担保に供している）
- ・貸付金（前年比 42 百万円減少。一般債権：5,572 百万円、貸倒懸念債権：30 百万円）
- ・貸倒引当金（前年比 1,528 千円減少。貸倒実績率の改善及び貸付金残高の減少による）
- ・前払費用（4 月分事務所借り上げ料）
- ・未収収益（貸付金利息、定期預金等未収利息）
- ・未収金（委託扱いの回収元利金のうち未入金分）

固定資産

有形固定資産

- ・工具器具備品（事務所内什器備品）

無形固定資産

- ・ソフトウェア（会計・貸付・名簿管理システム）
- ・電話加入権

投資その他の資産

- ・破産更生債権等（貸付金のうち貸し倒れる可能性の高い債権。前年比 5,910 千円減少）
- ・貸倒引当金（前年比 6,352 千円減少。回収の促進及び償却の実施による）

負債の部（5,234,867,180 円）

流動負債

- ・預り補助金等（補助金未使用分）
- ・一年内返済予定長期借入金（長期借入金の 18 年度償還予定額）
- ・未払金（委託手数料、諸経費の未払い分）
- ・未払費用（長期借入金の未払利息、未収収益に計上されている貸付金利息に対応する未払委託手数料、労働保険料）
- ・預り金（住民税、所得税、社会保険料）
- ・前受収益（短期貸付金の前取利息）
- ・退職給付引当金（退職給付については国から財源措置がなされるため引当金を計上しな

いことにしているが、当該年度においては、定年退職予定者について定年延長を実施したことから例外的に計上。18年度において使用することが確実なため流動負債とした)

固定負債

- ・ 資産見返補助金等 (独法化後に購入した固定資産の残存価額)
- ・ 長期借入金 (長期借入金の合計額で前年比 18 百万円減少)

資本の部 (1,705,929,691 円)

- 資本剰余金 基金
- 利益剰余金 積立金 (貸付金原資として運用)

(2) 損益計算書

経常費用 貸付業務費 (30,466,433 円)

- ・ 委託手数料
- ・ 各種開催会議旅費
- ・ 印刷費
- ・ 倉庫借り上げ料 等

一般管理費 (124,178,609 円)

- ・ 人件費
- ・ 事務所借り上げ料
- ・ 減価償却費
- ・ 監査報酬等

財務費用 (87,944,212 円)

- ・ 支払利息

経常収益 補助金等収益 (利子補給費及び管理費補給金)

貸付金利息

資産見返補助金等戻入 (独法化後に購入した固定資産の減価償却費相当額)

財務収益 (有価証券利息、預金利息)

雑益

臨時利益 貸倒引当金戻入益 (貸倒引当金の過剰分の戻し入れ)

償却債権取立益 (償却済債権について債務者からの入金があったもの)

(3) キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッシュ・フロー (42,609,812 円)

〔支出〕 貸付実行額、人件費、補助金の返還、委託手数料、その他の業務

〔収入〕 補助金、貸付回収金、その他の収入等

投資活動によるキャッシュ・フロー (1,668,005 円)

〔支出〕 有形固定資産の取得

財務活動によるキャッシュ・フロー（ 18,200,000 円）

〔支出〕短期借入金返済、長期借入金返済

〔収入〕短期借入金、長期借入金

資金増加額（22,741,807 円）

(4) 利益の処分又は損失の処理に関する書類

収支の不足分について補助金を受けることになっていることから利益はでない。

(5) 行政サービス実施コスト計算書

業務費用 損益計算書上の費用（貸付業務費、一般管理費、財務費用）

自己収入等（貸付金利息、財務収益、雑益、臨時利益）

損益外減価償却等相当額 該当なし

引当外退職給付増加見積り額（計算上の自己都合退職金の本年度増加分）

機会費用 基金 10 億円について国債利回り等を参考に 1.770%で算出

上記を合計した 180,266,667 円が行政サービス実施コストである。